

## アセアンエネルギー若手研究者短期インターンシッププログラム（第2回）を実施しました。

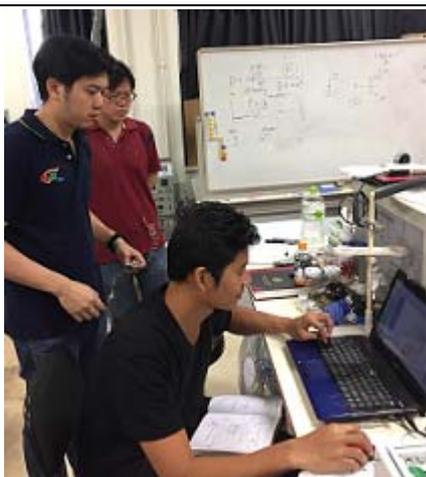
（2016年9月15日～2016年10月24日）

JASTIP 事業の共同研究先の一つであるキングモンクット工科大学トンブリ校から、博士課程学生 Supachai Jadsadajerm、Thanet Unchaisri の両君を5週間エネルギー理工学研究所で受け入れ研究指導を行いました。

Supachai 君は溶剤改質法と呼ばれる方法でバイオマス廃棄物・褐炭の改質の研究をしており、京都大学においては、従来用いていた溶剤とは異なる実溶剤を用いて実験を行い、従来溶剤の結果との比較検討を行いました。一方 Thanet 君は、石炭の溶剤改質物のガス化速度を熱天秤を用いて測定し、それを解析してガス化反応速度の定式化する手法を実習しました。10月20日には、研修の成果を研究室メンバーに発表しました。

研修以外に、精華町にあるRITEを見学して、我が国のバイオマス利用に関する最先端の研究に触れる機会や、日本文化体験として、伏見稻荷、東大寺、春日神社などを訪れる機会ももちました。

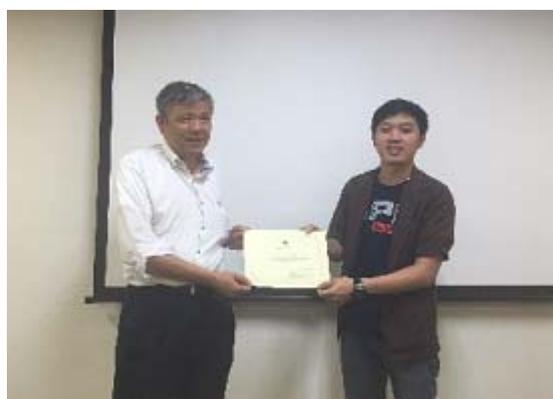
これらの結果は、二名の学生の今後の発展および JASTIP の共同研究に大きく寄与することが期待されます。



研修風景



研究室での成果報告会



インターンシップ修了証書授与



歓迎会風景



伏見稲荷にて